

「異分野横断型プロジェクトによるあらたな知の創造と実践」

C
□
Center - **O**f - **E**xcellence
□
E

21世紀COEプログラム JAIST

「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」



北陸先端科学技術大学院大学 科学技術開発戦略センター(知識II棟7階)

Center for Strategic Development of Science and Technology

U R L <http://www.jaist.ac.jp/coe/>

E-mail coecenter@jaist.ac.jp



■ 拠点形式理念と目的

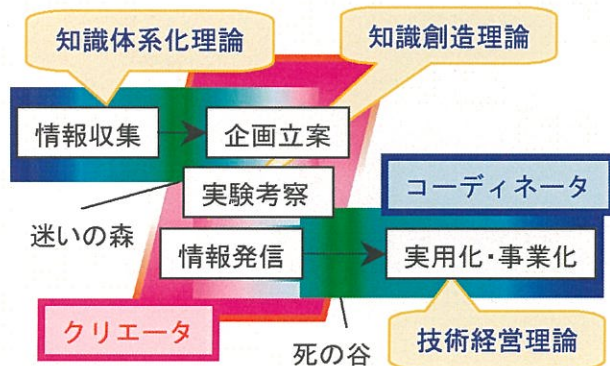
■ 概要

Research Program

本拠点では「科学知識創造学」という学際新領域を開拓する。本拠点プログラムの基盤には、知識創造のプロセスをモデル化し知識のマネジメントに関する研究を行う「知識科学」という学問領域が存在し、研究科としては、世界で唯一、本学に知識科学研究科が設立されている。同研究科の成果として、経営学領域における知識変換理論、知識体系化法、創造性開発法等、知識のマネジメントに関する数多くの研究成果が生まれつつある。

しかし、これからの「知識科学」は、経営学のみならず学問領域の壁を超えて、特に我が国においては重点科学分野（バイオ、ナノテク、環境、情報）の研究者に受け入れられ、実践され、創造的成果を理論的に生み出さなければならない。そのためには、科学技術研究における知識創造理論（共感⇒概念⇒結合⇒具現）の開発と実践を行う「場」が必要である。（ただし、ここでいう「場」とは、物理学的空間ではなく、知識を体得・体現できる時間・場所・人々・文脈などの総体を意味する。）

本拠点は、「理論」と「実践」、「文系の知」と「理系の知」、「横断型研究」と「垂直型研究」が、対峙、融合し、新たな理論が生まれ、新たな学問領域「科学知識創造学」へと発展する「場」である。



OPEN CENTER

■ JAIST-COEプログラム概要と コラボレートプロジェクト

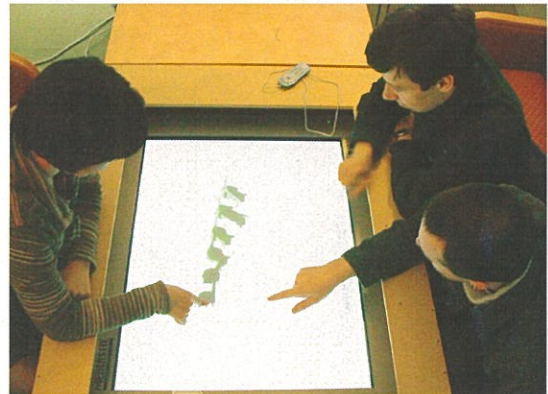
—MOS実践計画—
10:00~16:00

■ サイバー囲炉裏体験

—語り空間創造—
10:00~16:00

■ アニメーションで見る物理現象

10:00~14:00



サイバー囲炉裏は、机のように水平に置かれた60センチ×80センチの大型画面と、垂直の同型画面などから成り、インターネットに接続されています。水平画面には、癒やし効果もある水や泡のイメージが表示され、画面に触ると泡が反応、破裂させるとその泡に対応したホームページが垂直画面に表示される仕掛けになっています。

この装置の仕掛けの秘密は二つあります。ひとつは、この水や泡のように触れ続けることが楽しくまた不自然でないものがあることにより、初対面の人でも近くに居続けることができることです。もうひとつは、泡には、会話を促進する効果があると考えられる情報へのリンクが付けられていることです。これらの二つの仕掛けにより、集う人々は、居心地良くその場に居続けることができ、意識することなく、話題が供給され、会話が促進されるというわけです。水と泡の他に、地図やパズルなども会話を促進する効果をためすため使われています。